

No.131  
2018  
Winter

Hachinohe  
Institute  
of  
Technology  
Press  
SOUKYU

# 蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication



## CONTENTS

### 八戸工業大学

- p2-3 新年を迎えて／新成人メッセージ／ブランディング事業採択／ETロボコン全国ランキング1位／氷上インカレポスター採用／中心街課題解決へ授業スタート／AP事業中間報告会
- p4-5 バレーボール部インカレ出場／新役員紹介／野球部I部金星／アイススケート部健闘／華麗にストリートダンス／社会人基礎力育成グランプリ／COC＋アイデアコンテスト／パープルマム商品ラベル／彩才祭を終えて／学生チャレンジ事業／サークル紹介
- p6-7 青森土木フォーラム第10回記念大会／エドグレン高校異文化交流／「海洋工学の基礎と未来」公開授業／電子黒板システム開発／アジア大会 in ふくしま／高大連携推進協議会／進学相談会日程／平成30年度入試日程／藤本建設より寄贈／オープンキャンパス／学科名称変更／2月～4月行事予定
- p8-9 **カラーページ**  
**「八戸工大二中高一貫校スタート」**

### 八戸工業大学第一高等学校

- p10-11 新志学寮／工大一祭／県高総文祭／1学年宿泊研修／2学年修学旅行／3学年学年研修／進路状況中間報告／G キャンプ／定期演奏会／震災復興支援コンサート

### 八戸工業大学第二高等学校

- p12-13 進路状況中間報告／美術コース作品展／才神玲奈さん絵本出版／県高総文祭／準優勝女子サッカー部／地域活性化ワークショップ／芸術鑑賞／青森銀行出張授業／陸前高田ボランティア

### さくら幼稚園

- p14-15 はっぴょうかい／かたぐるま／ようちえんってこんなところ／とらんぼりん
- p16 理事会報告

Mobile & iPhone & Android  
モバイルサイトへアクセス▶▶▶



## 新年を迎えて

学長 長谷川 明

新年、あけましておめでとうございます。

本年も皆様が健康で幸せであることを願っています。

本学は、今年も、学生の皆さんが目標に向かって努力され、知識や技術だけではなく豊かな人間性をもつ人材として成長されることを支援して参ります。

昨年を振り返ってみますと、学生、教職員の皆さんの成果には大きなものがありました。まちづくりや自動車アイデアのコンテスト表彰、彩才祭などの文化活動、卓球・硬式野球・バレーボール・アイスホッケー・アーチェリーなどの体育活動などです。教育では、文部科学省の大学教育再生加速プログラム（AP）中間報告会が11月東京で開催し、本学の取り組みが他大学の参考になるとの意見をいただくなど高い評価を受けました。研究では、本学の私立大学研究ブランディング事業を文部科学省から採択頂き、寒冷地のインフラ老朽化対策など地域の課題に取り組んで来ています。

今年は、新しい八戸工業大学がスタートします。これまでの活動を継続発展させるとともに、地域の大学の役割をより充実させるために、一部の学科名称を変更し、工学部では生命環境科学科が、感性デザイン学部では創生デザイン学科「地域づくりコース」がスタートします。また、スーパーエンジニアや地域活性化リーダーを地域で育てる「特別養成コース」も開始します。

これからも、「地域の人材は地域から、地域の課題は地域で」をモットーに、八戸工業大学は発展していきます。今年も、よろしくお願いいたします。



## 新成人として思う

成人式を迎え、世間から「大人」として見られることに嬉々としつつも少し緊張しています。まだまだ実感はありませんが、少しずつ社会の一員として貢献していけたらなと思っています。今まで以上に責任を必要とされ、自分の言動に気をつけなければならないことにとっても不安を感じていますが、自分らしさを大切にし、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、期待に応えられるよう日々邁進してまいります。

山内みずき(土木建築工学科2年/八戸西高)

11月末、小林眞八戸市長と新成人との懇談会に参加し、八戸市の課題や将来について意見交換を行いました。現在八戸市では、たくさんの人が訪れる拠点にしたいと、中心街に「マチニワ」を建設。屋内スケートリンク場も来年の完成をめざし、工事が進んでいます。八戸は魅力ある街へと変化してきています。私たち新成人も地元の発展に協力していきたい、そう思う有意義な懇談会でした。

寺岡 郁哉  
(土木建築工学科2年/八戸東高)



## ～地域貢献へ、大学の独自色を活かす～

### 文部科学省 平成29年度「私立大学研究ブランディング事業」に採択

本学は、文部科学省平成29年度「私立大学研究ブランディング事業」に採択されました。今後、本事業を八戸工業大学のブランドと位置づけ、全学的な事業推進体制の下、教育・研究の推進と成果の発信に取り組んでいきます。

#### <事業内容>

・事業名：タイプ A（社会展開型）

「北東北の人口減少社会における自律的課題解決に向けたハブ機能構築と社会的資本の維持開発研究事業」

・期間：平成29年度から平成33年度

・概要：本学が位置する北東北地域は厳しい人口減少社会である。本学はこれまで防災および社会インフラの長寿命化技術の開発研究を継続してきており、この活動をさらに加速させると共に、インフラ・まちづくりに関わる社会システムの新たな研究を実施し、雇用創出と定住者拡大が実現できるよう、地域が抱える課題を集約するとともに、地域企業や地域住民が自律的・主体的に地域社会を支えられるよう支援する。



※「私立大学研究ブランディング事業」とは、学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取り組みを支援するもので、平成29年度は全国の私立大学188校の申請があり、60校（タイプ A（社会展開型）33校、タイプ B（世界展開型）27校）が選定されています。

## ETロボコン2017全国ランキング1位

10月9日に開催されたETロボコン2017東北地区大会デベロッパ部門アドバンスクラスにおいて、システム情報工学科山口広行准教授の研究室チームヒット & ランが優勝。名だたる強豪校をおさえ、「総合優勝」「競技優勝」「IPA賞」「東北経済産業局長賞」を受賞した。11月15日に開催されたチャンピオンシップ大会（全国大会）では惜しくも入賞を逃したが、東北地区大会での記録が1年間の公式大会を通して全国ランキング1位であった。全国ランキング1位は、東北地区から夢の全国大会優勝を目指す参加者への大きな自信へとつながった。

この大会は、指定されたロボットに各チームが分析・設計したソフトウェアを搭載し競うもので、今年は全国から321チーム（内、企業が160チーム）が参加した。

山口研究室はETロボコンを題材としたソフトウェア開発技術者の育成を行っており、同大会には2008年より出場。今年は、システム情報工学科4年角直哉君（八戸中央高）、神友一朗君（木造高）、足沢佳輔君（南部工高）、守昇吾君（八戸工高）が参加した。



## 氷上インカレポスター、佐々木由依さんデザイン

平成29年12月25日～29日、第90回日本学生氷上競技選手権大会アイスホッケー競技がテクノアイスパーク八戸、田名部記念アリーナ、ふくちアイスアリーナを会場に開催された。この大会ポスターに、八戸工大二高（美術コース）出身の佐々木由依さん（感性デザイン学科1年）がデザインした作品が選ばれた。佐々木さんは日本学生氷上競技連盟の福田弥夫会長、渡辺慎吾理事長らとともに記者会見に出席し、ポスターを披露した。大会ポスターを開催地の学生がデザインするのは連盟としても初の試みとのこと。大会に華を添えた形となった。「氷は冷たいイメージだが、選手は氷上で熱い戦いを繰り広げている。エネルギーを表現したかった。」と佐々木さんは語った。



## ～学生の力をまちづくりの課題解決へ～

平成29年度課題解決型授業「土木総合デザインⅡ」が始まりました。

土木建築工学科土木工学コースでは、本学、八戸市、(株)まちづくり八戸との三者で締結した「八戸市中心市街地のまちづくりに関する覚書」に基づいて、中心市街地の課題に対して学生が解決提案を行う実践的なエンジニアリング・デザイン教育を行っています。平成29年度も10月31日からスタートし、第1回目の講義では、八戸市のまちづくり文化推進室新山雄大氏による課題説明があり、早速、市街地をフィールドとして調査を行いました。本年度は約40名の学生が6グループに分かれて、下記の6課題に取り組んでいます。

①国道340号の歩道について、②中心街への来街者の滞在時

間について、③本八戸駅通りの賑わい創出について、④本八戸駅から屋内スケート場までの動線について、⑤「はっち」と「マチニワ」との動線について、⑥花小路の基本設計について

どの課題も実際に問題となっているテーマであり、これまで授業等で学習したことを生かして、実際に実現されるような提案を作成して貰いたいと思います。

金子 賢治(土木建築工学科教授)



## AP事業中間報告会

11月10日、東京国際交流館プラザ平成において、『八戸工業大学 AP 事業中間報告会「達成度評価の確立と学修成果の可視化」』を開催した。本学は平成26年度、文部科学省「大学教育再生加速プログラム（AP）テーマⅡ（学修成果の可視化）」に採択され、平成28年度からは入学から卒業まで質保証を伴った大学教育を実現するための改革を更に発展、推進してきた。事業期間中間年度となる今年、これまでの活動報告と他大学との交流、本事業の更なる発展と波及を目的とした報告会の開催である。

当日は四国・九州をはじめ、全国各地の高等教育機関や企業の方85名の参加があった。報告会では教員による「修得因子による学修成果の可視化」、



「アクティブラーニングにおける学修成果の可視化と展開」、「e-ラーニングによる学修成果の可視化」などの成果報告に加え、本学学生による「積み重ねが見える」ス

チューデントプロフィールによるリフレクション」、「自身の学生生活が“見える”ポートフォリオ」の発表が行なわれた。質疑討論や報告会後の情報交換会においても、活発な意見交換が行なわれ、本事業発展のための有益な情報を得る事ができた。

また、基調講演をされた文部科学省の河本達毅氏より「取組の想像以上の展開に驚きました。外形的な『可視化』というテーマにとどまらず、大学のアクティビティの全てを質保証サイクルに乗せていく、まさに全学をあげての教学マネジメントだと思いました。」との評価をいただいた。

本学は、入学から卒業まで質保証を伴った大学教育を実現するための改革を更に推進していく。

※大学教育再生加速プログラム：AP

(Acceleration Program for University Education Rebuilding :AP)

「大学教育再生加速プログラム」は、高等学校や社会との円滑な接続のもと、入口から出口まで質保証の伴った大学教育を実現するため、先進的な取組を実施する大学等（短大、高専を含む）を支援することを目的としています。本会では大学教育再生加速プログラム委員会を設け、このプログラムに関する審査・評価を実施します。(日本学術振興会HPより抜粋)

## 男子バレーボール部、全日本インカレ出場！ ～東北秋季リーグ戦、ベストサーブ賞も～



本学男子バレーボール部が「第70回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会－ミキプルーンスーパーカレッジバレー2017」（以下、インカレ）出場を決めた。

全日本インカレ出場権に関する東北学連の規約が今年から変更となり、春季・秋季リーグ戦及び東日本インカレの順位をポイント化し、その合計点で選考することとなった。東北学連からは本学の他、4チームが出場した。

出発前日、主将の黒滝泰世君（電気電子システム学科4年／五所川原工高）、副主将の澤上亜羅樹君（電気電子システム学科3年／五所川原工高）

は長谷川学長のもとを訪れ、インカレ出場報告と第51回東北バレーボール大学秋季リーグ戦で円子彪我君（土木建築工学科1年／八戸工大一高）がサーブ賞第1位に輝いたことを報告。長谷川学長の激励に「普段の練習から学年を意識しない雰囲気作りでチームワークを培ってきた。このチームワークの良さを生かし、インカレに臨みたい。」と黒滝君は語った。

全国の壁は厚く、残念にも大会初戦では強豪・東亜大学に敗退したものの、インカレ常連校をめざし、今後も活躍を期待する。



（写真中央右から澤上君、黒滝君）

## 秋季リーグ戦で大金星 東北地区大学野球優勝校富士大学を破る

硬式野球部は北東北大学野球一部秋季リーグ戦で開幕戦の青森大学戦、0対0で迎えた9回裏に菅原涼太君（土木建築工学科3年／秋田・秋田商高）のサヨナラホームランで劇的な勝利をおさめた。二週目には、秋季リーグ戦と東北地区大学野球代表決定戦で優勝し全国大会でもベスト8に進出した富士大学を相手に、中村悠君（機械情報技術学科4年／岩手・一関学院高（写真中央右））の逆転3ランホームランが飛び出し4対3で勝利した。最終週の岩手



大学戦にもエース工藤甲斐君（機械情報技術学科3年／黒石商高）の力投で延長戦を制し2連勝、一昨年秋季に二部リーグから昇格後、最高成績となる4勝6敗の4位で全日程を終了した。

## ハロウィンで華麗にダンスパフォーマンス

10月29日、私たちストリートダンス愛好会「Nu vivace」は八戸近辺の「イオンモール下田」でのハロウィンパー



ティーに、ゲストダンサーとして参加しました。当日は1年生から4年生の計10名がチームを作って、BREAKやROCK、FREESTYLEなど各々のジャンルのダンスを踊り、ハロウィンパーティーに参加していた子どもたちと一緒にハロパダンスも踊りました。2回のショーとも全員全力でパフォーマンスすることができ、ハロウィンパーティーに参加した方々に大いに楽しん

## 新役員紹介

平成30年度新役員を紹介します。  
（学年・学科は平成29年度）



**学友会委員長**

坪 真也

（機械情報技術学科2年  
／むつ工高）



**体育会会長**

石橋 和樹

（バイオ環境工学科1年  
／三本木農高）



**文化会会長**

田口 翔太

（バイオ環境工学科1年  
／秋田・大曲農高）

## アイススケート部 2年連続インカレ出場

平成29年12月25日～29日、八戸市を中心に開催された第90回氷上インカレに本学アイススケート部（ホッケー部門）が2年連続で出場した。25日、ふくちアイスアリーナ（南部町）で行われた日本大学との1回戦では、全国との差を見せつけられ1対20で敗退。しかしながら、上位校相手に1得点を取れたことは、来シーズンへ大きな励みとなった。来年度は、地元八戸でインカレ予選が開催される。まずは東北優勝を目指して練習に励みたい。

監督 本間 貴士



でいただけたと思います。

メンバーには個人で北海道や東北、関東各地に足を運びダンスバトルに参加して、ダンススキル・感性・人間性を磨いている人もいます。私たちはこの素晴らしいダンスの力を持って、イベントに積極的に参加し、本学をPRし盛り上げていこうと思います。  
ストリートダンス愛好会 斐澤 尚訓  
（システム情報工学科3年／岩手・久慈高）

## 社会人基礎力育成グランプリ 地区大会準優秀賞に

12月2日、東北学院大学土樋キャンパスにて、社会人基礎力育成グランプリ北海道・東北地区大会が開催された。本学機械情報技術学科自動車工学コース4年生坂本諒太君（八戸工大一高）と、中山佳也里さん（八戸工大二高）が発表した「地域医療課題克服のための移動型緊急手術室の開発と成果～Preventable Death Zero～」が、準優秀賞を獲得した。

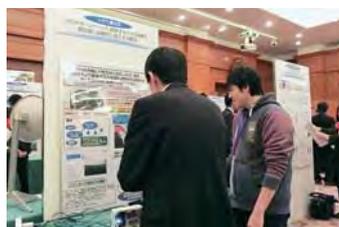
本研究は、学生達が医療機関や企業と連携し地域医療の課題解決に取り組んだものであり、この取り組みが、日本初症例となる傷病者発生現場でのPCPS（人口心肺補助装置）装着手

術を成功させた。命を救い後遺症のない社会復帰を実現させたいという、学生達の進路目標に大きな影響を与えた。本研究はすぐにもビジネスに結びつくものであると、評価を得た。



## COC+イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト2017 「地域を元気にする学生の提案」開催

12月9日、八戸プラザホテルを会場にCOC+「イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト2017」が開催され、



地元地域の課題解決、廃棄される自然資源の活用、観光や文化の魅力推進などについてユニークなアイデアが提案された。ステージでのプレゼンテーションに続きポスター審査では審査員

や一般市民から質問攻めにあう学生もおり、会場は活気に包まれた。本学からは、「SNSやホームページに掲載するカメラ画像を顔認識し自動的に加工する機能」（写真）、「青森県での車両警備（交通整理）の作業を軽減する車両通過情報検知伝送システム」が発表された。最後にゲストとして参加された福野泰介氏（福井高専卒、jig.jp（ジグジエイピー）代表取締役社長）より「アイデアは、いい名前、いい値段、そして楽しむ！を持って実現することで価値が生まれる。」との激励のあいさつがあった。

## パープルマム商品のラベルをデザイン

鮮やかな紫色が目を惹く食用菊「パープルマム」を多くの人に知って欲しいと、感性デザイン学科1年の佐藤美紀さん（八戸北高（写真左）、杉山舞さん（八戸工大一高（写真中央）、藤村安里沙さん（八戸商高（写真右）の3名が商品ラベルをデザインした。本学若生豊教授と食用菊の協同開発をした階上町の菓子店「ラ・ドゥルセラ美松」（小松國男代表）がパープルマムを使用した菓子の発売に合わせ、本学に依頼したものである。11月5日、チー



ノ八戸で開かれた若生教授のパープルマムについての講演会の席で商品発表とラベルのお披露目が行われた。ラベルは加工品用と生花用の2種類が作られた。

## 第18回彩才祭を終えて

11月11日・12日、文化会主催「彩才祭（さいさいさい）」を、ショッピングセンターラピア2階ラピアホールを会場に開催しました。13団体総勢105名が参加。着ぐるみを着てのピラ配りが功を奏したのか、子ども連れを中心とした500人を越える来場者で会場は賑わいました。アンケートには「来年もまた来たい」、「子どもも楽しめ、大学の活動がわかった」など嬉しい感想がありました。次回はポスター掲示増による来場者増加を図るなど、よりよい彩才祭をめざして、新役員共々頑張っていきたいと思います。最後に、協力いただいた多くの方々へ心から感謝いたします。文化会会長 小笠原 祐子（システム情報工学科3年／八戸工大一高）



## 学チャレ中間発表会

12月17日、チーノ八戸にて学生チャレンジプロジェクト事業中間発表会が開催され、14組の団体が経過についてプレゼンテーションを行った。会場では各団体のブース展示と演示が行われた。地元特産のサバを使ったおみやげ開発を目指したスイーツの試食、裂き織を気軽に体験できる地機の開発、「書」をデザイン媒体とした新たな交流事業の提案（写真左）、ドローンを用いたプロモーション動画へのチャレンジほか、学生ならではの視点での挑戦が街ゆく人の興味を引いていた。



## サークル紹介 ソフトテニス部

ソフトテニス部は、社会人を含む総勢45名の八戸工業大学ソフトテニスクラブ（クラブチーム）として活動しています。18歳～83歳の老若男女混合で、福島・秋田・岩手出身のOBの方もいます。技術向上・体力増進に加え、諸先輩方からは人としての礼儀作法のご指導もいただき、日々練習に励んでいます。共に戦う仲間とは強い絆で結ばれ、OBや一般の方と垣根のない交流を図っています。卒業後も、部活で学んだ、最後まで諦めない心を忘れずに頑張りたいと思います。



ソフトテニス部前主将 浦田 滉平  
（機械情報技術学科4年／静岡）

## 青森土木フォーラム第10回記念大会

11月11日～13日、本学土木建築工学科が主管となり青森土木フォーラム第10回記念大会「これからの土木」が開催された。親子対象のバスツアーでは土木工事や橋梁などの現場見学会を、ポータルミュージアムはっちでは市民・子ども向けの体験学習を行うなど、市民生活を支えるインフラを身近に感じてもらうと工夫が凝らされて

いた。八戸市公民館ホールでは、まず、「これからの土木」と題して長谷川明学長による講演が行われた。続いて、パネルディスカッションでは菅原隆八戸工業高等専門学校名誉教授をコーディネータに、女性建設技術者、就職を控えた学生、建設業界など産官学の代表6名をパネリストに迎え、労働条件・環境の改善、女性・若手技術者の



活躍・育成、土木・建設業界のイメージアップ等の5項目についてそれぞれの立場からの意見が交換された。

## エドグレン高校と、異文化交流

12月8日、感性デザイン学科において三沢米軍基地エドグレン高校の生徒たちを招き、異文化交流プログラムを実施した。エドグレン高校からは生徒、保護者、引率教員の計20名が参加。長谷川明学長による歓迎の挨拶ではじまり、キャンパスツアー、ワークショップ（書道体験、地域文化紹介、缶バッジデザイン）、ランチタイム交流、最後に本学小坂谷壽一教授による電子三味線演奏鑑賞が行われた。本学からは感性デザイン学科21名の学生が参加し、英語を使って交流プログラムを進め、システム情報工学科の小坂谷研究室所属の学生たちは演奏会場の設営をサポートしてくれた。学生達からは、また活動に参加したい、英語をもっと勉強したい等の声が聞こえ、異文化理解、外国語学習の動機づけというプログラムの目的も十分果たせた。



## ～一般公開授業～ 海洋工学の基礎と未来

12月7日、多目的ホールにて、堀田平氏（JAMSTEC 特任参事／八戸工業大学客員教授）による、公開授業が行われた。本学とJAMSTECは平成27年に連携・協力に関する協定を締結。海洋科学技術に係わる人材育成の推進の目的から、全学部1年生対象の主題別セミナーIで「海洋工学の基礎と未来」を開講している。



この日は種市高校の生徒・教職員、一般市民を含む130余名が集まる中、海底の資源の探査や技術の開発、二酸化炭素を海底に安定的に貯留する技術の開発など、最新情報を交えた講義が行われた。

## 電子黒板システム、アクティブラーニングへ

学生自らが主体的・能動的に学ぶアクティブラーニングのツールとして、テレビ3台を連動表示できる電子黒板システムを㈱アイ・オー・データ機器と㈱ビジネスサービスの協力を得ながら開発した。このシステムは本学の平成29年度教育改革支援助成を受けて構築したものである。学生が紙に解いた演習問題の内容をスキャナーで読み取った後すぐに画面へ表示させ、画面にラインなどを書き込みながら発表することが可能であり、効率的に授業を進めることができる。また、3人の異なった解法をそれぞれの画面に同時に表示させ比較することもできる。学生の主体性やプレゼン能力を向上させるため、今後このシステムを積極的に活用していきたい。

信山 克義（電気電子システム学科教授）



## 原子力安全教育道場アジア大会 inふくしま を終えて

10月29日～11月3日の日程で開催された原子力安全教育道場アジア大会inふくしまに参加しました。研修中の講義や会話は全て英語で、日本人学生6名、海外の学生4名と共に廃炉技術の開発と安全対策についての講義、福島第一原子力発電所の見学や学生同士のディスカッションを行い、最終日



にプレゼン発表を行いました。

原子力は、1つの分野だけでは成り立たない総合科学です。そのため、あるテーマを議論する際には、多方面からの意見が求められます。意見の共有を通して相手の考えを知り、自分自身の視野を広げたいと思い参加しました。

参加前、英語のみの生活が初めての事、他大学の学生との会話や難しい講義についていけるのか等とても不安でした。しかし、仲間の協力を得ながら議論に参加し、自分の一言で議論が深まっていくことや反論を受けることに面白さを感じ、学科が違うだけで視点が全く異なることに驚き、自分の考えにも価値があると気づきました。

最先端の技術と技術者たちの考えは、自分の将来像を見つめ直すきっかけとなりました。一番印象に残ったことは、技術者とそれ以外の人の間に生じる理解の差についてです。日々進歩する技術と人の心をどう繋いでいくのかという問題は、技術を扱う上で重要な課題で、工学の立場からこの課題にアプローチしたいという目標が出来ました。

この研修で、仲間たちと将来の夢を語り合ったことや自分の言葉（英語）で伝えきれなかったことの悔しさは、勉強の励みになりました。自分の壁を打ち破り、関心を持ったことに挑戦していきたいです。

大杉 遥（バイオ環境工学科4年／三本木高）

## 第15回八戸工業大学高大連携推進協議会

1月19日、「平成29年度（第15回）八戸工業大学高大連携推進協議会」が本学多目的ホールで開催され、青森県や岩手県の高専関係者と本学教職員が発表や意見交換を行った。昨年度出された意見を踏まえ、今後3年間の大テーマを「地域の教育力を高める高大連携」とし、1年目の本年度テーマを「互いに学ぶアクティブラーニング」とした。

長谷川明学長の挨拶に続いて、本学の取組みを紹介。はじめに坂本禎智学務部長・教授が、本学の実施しているAP事業中間報告から学修成果の可視化やアクティブラーニング型の授業等について発表した。続いて、工学部電気電子システム工学科の取組みの実際として、「ラーニング・ポートフォリオとリフレクション」について3年葛西翔大朗君（八戸北高）が、「ティーチング・ポートフォリオによる振り返りと情報共有」について佐々木崇徳准教授が発表した。なお、これらは本紙3ページのAP事業中間報告会報告の一部である。

次に、青森県立八戸東高等学校の福井武久校長が「主体的・対話的で深い学びを考える」と題して発表した。高等学校学習指導要領告示や新大学入試制度が予定されているが、「資質・能力の育成」と「社会に開かれた教育課程の実現」のため、カリキュラムマネジメントやアクティブラーニングが求められており、学校全体で授業改善に取組もうとする提案で



あった。

この後、協議が行われ、最後に本学から、「高校と大学の連携教育活動モデル事業」募集の提案が示された。

## 藤本建設様からの寄贈

11月13日、「みちぎん MiRai-e 貢献 bonds」(学校寄付型私募債)により、(株)藤本建設様(代表取締役社長長谷川学氏)から移動式ホワイトボード2台の贈呈があった。みちのく銀行「学校寄付型私募債」とは、地方創生にかかる地域貢献の取り組みの一つで、私募債発行企業が寄贈先を指定できるのが特徴。長谷川明学長は贈呈式で「地域の人材として活躍できる学生を育てるため、いただいた機器をアクティブラーニングなどの授業で活用していきたい」と述べた。



## 春のオープンキャンパスを開催します

今年も、在学生が主体となって運営します。  
ぜひ、ご家族でご参加ください!

日時：3月17日(土)10:00~14:30

内容：大学紹介、学科見学、キャンパスツアー、大学周辺バスツアー、保護者向けガイダンス、学食体験、サークル紹介、教職員相談コーナー

- ◆事前予約制です。
- ◆無料送迎バスを運行します。



詳細は、決定次第本学ホームページに掲載します。  
お問い合わせ：0120-850-276(入試課フリーダイヤル)

## 進学相談会日程

会場名	開催地	実施日	時間
八戸グランドホテル	八戸	2月1日	15:45~18:00
アートホテル弘前シティ	弘前	2月5日	15:30~18:00
ホテルサンルート五所川原	五所川原	2月6日	15:30~18:00
富士屋グランドホール	十和田	2月7日	15:30~17:30
秋田市民交流プラザアルヴェ	秋田	2月14日	16:00~18:30
ロイヤルパークカワサキ	久慈	2月20日	14:30~17:00
秋田市民交流プラザアルヴェ	秋田	2月20日	15:30~17:00
一関文化センター	一関	2月27日	13:30~17:00
八戸プラザホテル	八戸	3月12日	14:00~17:30

## 平成30年度入試日程

入試区分	願書受付期間(必着)	試験日
一般入学試験	後期 3月1日(木)~3月12日(月)	3月22日(木)
大学入試センター試験利用入学試験	中期 2月1日(木)~2月16日(金)	1月13日(土)・1月14日(日)のセンター試験
	後期 3月1日(木)~3月20日(火)	
入試区分	エントリーカード受付期間(必着)	面談日
AO入学試験	第3クール 1月29日(月)~2月2日(金)	2月9日(金)
	第4クール 3月1日(木)~3月9日(金)	3月16日(金)

## 学科名称変更のお知らせ

平成30年4月、本学は改組により学科名変更とコース変更を行い、学科横断型の海洋学副コースを新設いたします。詳しくは、本学HP→入試情報をご覧ください。

変更前	変更後
機械情報技術学科	機械工学科
電気電子システム学科	電気電子工学科
バイオ環境工学科	生命環境科学科
感性デザイン学科	創生デザイン学科

## 2月~4月行事予定

- 2月**
  - 2日 一般入試前期
  - 7日~14日 後期補習・再試験期間
  - 9日 AO入試第3クール
- 3月**
  - 7日~9日 就職懇談会(3学年対象)
  - 16日 AO入試第4クール
  - 17日 オープンキャンパス⑤
  - 20日 学位記授与式、保護者後援会本部役員会
  - 22日 一般入試後期
- 4月**
  - 3日 平成30年度入学式
  - 4日・5日 ガイダンス・開講試験(1年生)
  - 6日 前期授業開始
  - 13日~20日 履修登録期間

# 「地域を、世界を、未来を拓く」 進学重視型の中高一貫校がスタート



## 八戸工業大学第二高等学校附属中学校

併設型中高一貫教育校 一貫コース

### 学校概要

平成30年4月、併設型中高一貫教育校として、二高附属中学校が開校する予定です。サイエンス、グローバル、ヒューマンの3つの視点からの教育を推進し、21世紀に大きく羽ばたく地域や日本のリーダーとなる人材育成を目指します。

特徴は、何と言っても6年間の一貫教育を活かしたカリキュラムです。中学3年から高校1年生の授業内容を先取りし、難関大学への合格を目指すだけでなく、思考力・判断力・表現力を育む様々な特色教育が準備され、八戸工業大学や外部団体と連携しながらの探求活動及び表現活動で、生きる力を育みます。

地域を、世界を、未来を拓く、八戸工業大学第二高等学校附属中学校にご期待下さい。

### 進学重視型の中高一貫校

#### ・「確かな学力」

難関国立・私立大学や、医学部医学科への合格を目指す。

#### ・「生きる力」

21世紀を生きる子ども達がより良い人生と社会を、築くための力を身につける。

### 中・高・大の連携

#### ■二高との連携

多くの国公立大学や難関大学合格者を出す第二高等学校との一貫教育が、難関大学・医学系大学へ合格する学力を育てます。

#### ■八戸工業大学との連携

アプリ開発、プログラミング、海洋環境教育プログラムなど、隣接する八戸工業大学の先進的な教育を受けることができます。



### 伝統と実績がつくる 新しい教育システム

#### 学校法人八戸工業大学の 建学の精神「正己以格物」<sup>せい き いかくぶつ</sup>

ものごとの真の姿を発見して、たくさんの知識にふれ、社会に役立つことをさがし求め、その実現に向けて正しい心を持って行動することを表したものです。



#### 特色教育

##### サイエンス教育

〔科学を探究する心〕

実験・観察など探究型教育を多く取り入れ、自分で課題を見つけて、調べて、判断し、発表するという科学する力を育てます。

##### グローバル教育

〔世界とつながる心〕

世界に目を向けて、自分の思いを伝えて世界とつながる気持ちを育てます。英語に加え、地域や日本の伝統文化も学びます。

##### ヒューマン教育

〔人を想いやる心〕

人を想いやる気持ちや、なにごとにも感動できる気持ち、そして積極的に社会に貢献しようとする心と態度を育てます。

### 早く深く学べる 6年間の一貫コース

#### 難関大学への合格をめざす

中学校・高等学校の6年を3つの時期に区分します。それぞれの時期にあわせた特色ある学習プログラムが組み込まれています。これらに取り組むことで、難関大学や医学部医学科への合格など、夢の実現が可能になります。



#### ●学力を伸ばす、6年間の一貫教育

主体的・対話的で深い学びの実践

	附属中学校			第二高等学校		
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
	基礎期 ●学力の基礎づくり ●学習習慣の確立と読書励行			充実期 ●学力の定着と増進 ●思考力・判断力・表現力養成		発展期 ●学力の錬磨 ●応用力の養成と入試対策
国語	中1国語・中2国語・中3国語			国語総合・現代文・古典		応用・入試対策
社会	地理分野・歴史分野・公民分野			地歴科目・公民科目		応用・入試対策
数学	中1数学・中2数学・中3数学			数学ⅠA・数学ⅡB・数学Ⅲ		応用・入試対策
理科	中1理科・中2理科・中3理科			基礎科目・化学・生物・物理		応用・入試対策
英語	中1英語・中2英語・中3英語 (英検準2級取得)			コミュニケーション英語・英語表現 (英検2級以上取得)		応用・入試対策

#### ●公立中学校との授業時数の比較

質の高い授業と公立中学校標準授業時数を上回る時数で学力を伸ばします。隔週土曜授業を実施します。

※附属中の授業時数の1単位時間は50分に換算したものである。

中学3年間の授業時数(主要5教科)	国語	社会	数学	理科	英語	5教科合計
工大二高附属中学校授業時数	425	392	506	462	523	2308
公立中学校標準授業時数	385	350	385	385	420	1925

## 新志学寮落成



創立60周年の記念事業として新志学寮が10月に完成した。新志学寮は鉄筋3階建て冷暖房完備、2人部屋、ベッド・学習机付き、収容人数は60名である。

10月20日には、理事長をはじめ来賓・関係者が多数集まり落成式が行われた。23日から寮生32名が、新築の寮で、寮生活を快適に過ごしている。暖房だけでなく夏の暑さにも対応した冷暖房エアコンを全室に完備しており、平日3食の提供に加え、土日の朝・夕、長期休み（お盆・正月期間は除く）の食事の提供が新たに行われるようになった。

11月20日に八戸消防署の協力を得て避難訓練を行い、緊急時の避難方法や行動、点呼方法の確認を行った。旧寮に比べ生活環境が大きく変わり、生徒一人ひとりの学校生活や部活動に対するモチベーションもあがったように思える。これからも規則正しい生活を心がけ、今後の部活動での活躍を願う。

### 第48回 工大一祭



11月4日・5日、第48回工大一祭が開催された。恒例の各部の模擬店のほか、各科・各学年の工夫を凝らした展示や熱のこもったステージ発表は、見応えのあるものであった。今年度催された震災復興即売会では、来場いただいた皆さまのご協力のおかげもあり、復興支援に寄与することができた。今年度も1,500名を超える来場者を迎え、盛況のうちに終えることができた。

### 第38回青森県高等学校総合文化祭

10月27日～29日の3日間、三八・上北地区を中心とした会場で第38回青森県高等学校総合文化祭が開催された。本校からは写真部・美術部・将棋部・JRC部・放送部が出場した。

写真部門では、井畑尚樹君（機械コース2年／三戸中（写真右））が「乳の香り」という作品で優良賞を受賞した。

総合開会式の第二部「交歓会」では、将棋部門の紹介を外崎竜馬君（電子通信コース2年／五戸中）と木下龍星君（電子通信コース2年／下長中）が行った。





1学年

## 宿泊研修

1学年では、12月6日～8日の日程で、国立岩手山青少年交流の家で宿泊研修を行った。研修では、①企業見学、②集団訓練、③校歌指導、④メラビアン（写真）の法則の講義、⑤指示テスト、⑥漢字検定模擬試験、⑦アイスブレイク、⑧スポーツ雪合戦、⑨進路達成の準備についての講義（株式会社昭栄広報）などが行われた。寝食を共にした活動の中で、自主性や協調性、5分前行動、公共マナーを体得し、仲間や教師との親睦を深めることができた。



2学年

## 修学旅行

12月4日～8日、沖縄、関西方面への修学旅行を実施した。沖縄では平和教育を目的に、ひめゆり学徒隊の戦争体験を知ることにより、平和のありがたさ、命の大切さについて学んだ。また、首里城の見学により、沖縄の歴史に触れることもできた。

日程的にハードな内容となっており、生徒の体調が心配されたが、京都での自主研修や大阪でのUSJなど、生徒たちは4泊5日の修学旅行を満喫していた。



3学年

## 学年研修

12月6日から3日間にわたり学年研修が行われた。「年金の概念」や「金融トラブル防止対策」について学習し、男女に分かれてスーツ等の着こなしをはじめとした身だしなみに関わる研修を行った。八戸市や近郊にある施設を巡る「地元を知る」企画や、ホテルでのテーブルマナーも体験した。また、本校OBでコラムニストの海老川亮氏による講演「より良い人間関係を作るための話し方」を通して、社会へ出た時に自分がとるべき行動の示唆を得ることができた。

## 進路状況中間報告

現在、3年生の進路状況は、進学希望が約51%、就職希望が約49%となっており、進学希望者が若干多い傾向にある。昨年度は就職希望者の方が、進学希望者を若干上回っていたが、今年度再び進学希望者が増加となった。

県内企業63名、県外企業47名、計110名と就職希望生徒の100%が11月中に内定をいただいた。内定時期が早まったのは、かつてないほど短期間の間に採用試験が実施されたためと云える。

しかしながら、このような売り手市場の状況下でも「質」を重視する厳選採用傾向は続いており、就職環境は厳しいものとなっている。採用試験においては、生徒・企業担当者の双方から「基礎学力」が求められる。

進学希望者についても、合格に向けて全力で生徒達をサポートしていきたい。

進路指導部長 掛端 秀彦

### 就 職

#### 〈県内企業〉

青森総合警備保障(株)  
エムビーエムオペレーション(株)  
小幡建設(株)  
北日本造船(株)  
京谷電気(株)  
高周波製造(株)  
合同酒精(株)酵素医薬品工場  
(株)サンデー  
(株)シェルビー  
(株)昭光製作所  
シルバーフェリーサービス(株)  
(株)ジーアイテック  
(株)菅原ディーゼル  
スターゼンミートプロセッサ(株)青森工場  
(株)田名部組  
多摩川ハイテック(株)  
東京鉄鋼(株)八戸工場  
東北三吉工業(株)  
東北容器工業(株)  
トヨタカラー八戸(株)  
(株)七洋  
八戸港湾運送(株)

八戸製錬(株)八戸製錬所  
八戸セメント(株)  
八戸通運(株)  
八戸農業協同組合  
(株)八戸プラザホテル  
プライフーズ(株)  
(株)北辰工業  
三浦建設工業(株)  
三菱製紙エンジニアリング(株)  
(株)よこまち 他

#### 〈県外企業〉

佐川急便(株)  
新日鐵住金(株)君津製鉄所  
JR盛岡鉄道サービス(株)  
(株)SUBARU群馬製作所  
(株)セノン  
東京電力ホールディングス(株)  
トビー工業(株)  
トヨタ自動車(株)  
日産自動車(株)  
日本通運(株)海運事業支店  
(株)日立ビルシステムエンジニアリング  
東日本旅客鉄道(株)  
日野自動車(株)  
山崎製パン(株)

#### 〈公務員〉

海上自衛隊  
航空自衛隊  
陸上自衛隊

### 進 学

#### 〈4年制大学〉

八戸工業大学  
青森中央学院大学  
東京経済大学  
東北福祉大学  
日本体育大学  
北陸大学  
神奈川大学  
札幌大学  
札幌国際大学 他

#### 〈短期大学〉

八戸学院大学短期大学部  
埼玉女子短期大学

#### 〈専修学校〉

東北職業能力開発大学校  
八戸看護専門学校  
八戸工科学院  
八戸理容美容専門学校 他

## Gキャンプ(普通科合宿勉強会)を終えて

11月25日・26日に三沢市国際交流教育センターでGキャンプと称する合宿勉強会が行われ、普通科1・2年生の希望者33名が参加した。全生徒が運動部に所属しており、半数近くがインターハイや全国大会に参加している。「部活も進路も全国へ」のスローガンのもと、深夜まで机に向かい、翌朝は6時からの日程を全員がやり抜いた。勉強に向かう意識の構築に繋がる貴重な体験となった。



## 第46回定期演奏会

12月13日、八戸地区をはじめ中央で活躍するOB・OG40名が演奏者やスタッフとして参加し、在卒合同による第46回定期演奏会が八戸市公会堂ホールで開催された。音楽史を彩るホルスト作曲「木星」、リード作曲「パンチネルロ序曲」のクオリティの高い演奏。そして、ポップス・ステージの最後を飾るのはおなじみのスーザ作曲「星条旗よ永遠なれ」。楽器を持って駆けつけた小学生から年配の方々の友情出演によって華々しい演奏となり、盛り上がる内に幕を閉じた。



## 5年連続 震災復興支援



10月28日・29日、福島県（相馬郡飯館村文化祭）、宮城県（気仙沼市海の市）、岩手県（陸前高田市広田公民館）の3会場で震災復興支援コンサートを開催した。初訪問の飯館村では、村を上げての文化祭でトリを務め、500名を超える皆様の前で魂のこもった演奏を繰り広げた。地域により復興スピードの差を感じたが、行く先々でご来場の皆様から生きる力をいただいた訪問演奏であった。

# 進路状況中間報告

平成30年度入試推薦・AO入試の結果が出そろった。12月15日現在、国公立大学に20名、私立大学70名が合格を果たしている。就職では26名の内定が決定しており、特に公務員の合格が目立つ結果となった。これからセンター試験・一般試験に臨む生徒達も多数おり、最後の追い込み時期を迎えている。一般入試の結果は3月以降に確定する。

## 【国公立大学 20名合格】

釧路公立大学、北海道教育大学函館校2名、室蘭工業大学、青森県立保健大学2名、青森公立大学2名、岩手大学3名、宮城大学、秋田公立美術大学、秋田大学、山形大学3名、筑波大学、長岡造形大学、長野大学

## 【私立大学 70名合格】

札幌国際大学、日本医療大学、北海道医療大学、北海道薬科大学、青森中央学院大学、八戸学院大学6名、八戸工業大学16名、岩手保健医療大学、尚綱学院大学、仙台大学、東北学院大学5名、東北福祉大学2名、東北文化学園大学2名、宮城学院女子大学2名、日本赤十字秋田看護大学、東北芸術工科大学6名、埼玉医科大学、東都医療大学、日本医療科学大学、川村学園女子大学、青山学院大学、北里大学、共立女子大学、杏林大学、駒澤大学、亜細亜大学、東京工科大学、東京女子体育大学、東京造形大学3名、法政大学、武蔵野美術大学、女子美術大学、東海大学2名、玉川大学、東京電機大学

## 【私立短期大学 8名合格】

函館短期大学、八戸学院大学短期大学部3名、仙台青葉学院短期大学4名

## 【専門学校・各種学校 16名合格】

八戸理容美容専門学校、盛岡カレッジオブビジネス、盛岡ペットワールド専門学校、仙台デザイン専門学校、仙台ビューティーアート専門学校、総合学園ヒューマンアカデミー、ESP エンタテインメント東京、東京アニメ・声優専門学校、東京工学院専門学校、東京バイオテクノロジー専門学校、東京ビジュアルアーツ、東京ビューティーアート専門学校2名、東放学園音響専門学校、桑沢デザイン研究所、京都伝統工芸大学校

## 【医療系各種学校】

青森県立保健大学健康科学部看護学科・栄養学科、日本医療大学保健医療学部診療放射線学科、北海道医療大学リハビリテーション科学部作業療法学科、北海道薬科大学薬学部薬学科、青森中央学院大学看護学部看護学科、八戸学院大学健康医療学部看護学科2名、岩手保健医療大学看護学部看護学科、東北文化学園大学医療福祉学部看護学科・科学技術学部臨床工学科、日本赤十字秋田看護大学看護学部看護学科、埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科、東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科、日本医療科学大学保健医療学部診療放射線学科、杏林大学保健学部看護学科、仙台青葉学院短期大学歯科衛生学科、東北メディカル学院理学療法学科2名、八戸保健医療専門学校歯科衛生士学科、仙台医療福祉専門学校医薬品販売学科

## 就職もがんばっています

### 【就職】

青森県警、宮城県警、自衛隊一般曹候補生3名、自衛官候補生5名、ドコモショップ八戸中央店、(株)春秋、(株)オートガード八戸、(株)ビジネスサービス八戸支店、社会福祉法人同伸会特別養護老人ホーム瑞光園、社会福祉法人寿栄会特別養護老人ホーム



ム寿栄荘、ブライフーズ(株)、(有)三栄商事、東日本旅客鉄道(株)盛岡エリア、居酒屋漁り火、ANA FESTA(株)、(株)自動車ガラス販売八戸、(株)ユニカマダレプ事業部スーパーマーケット千歳屋、医療法人社団青葉会牧野記念病院、(株)まんだらけ、(株)リロードエッジ

### 【公務員試験複数合格】

齊藤 竜輝君 (カレッジコース/十和田市立東中)  
写真右が齊藤君。左は担任の金田教諭。

## 第32回美術コース作品展

12月15日～17日、第32回美術コース作品展が、八戸ポータルミュージアム「はっち」のシアター1・2とギャラリー2で開催され、美術コース生112名が制作した188点の作品を披露した。シアター1・2には卒業制作を中心に100号の油絵、デザイン、服飾、アニメーション、インスタレーションなど各分野の作品が展示され来場者の目を楽しませた。



ギャラリー2には1、2年生が授業で取り組んだ日本画や油彩画、デザイン作品、コンクール受賞作品を展示し日頃の成果を発表した。

最終日には3年生によるギャラリートークが行われ、卒業制作のコンセプトから受験の対策まで多彩なトークで会場を盛り上げた。3日間の来場者数は1,300名と今年も盛況のうちに終了した。



## 才神玲奈さん絵本出版へ

才神玲奈さん(美術コース3年/三条中)が、「リクとようせいのふしぎの森」という絵本の出版に取り組んでいる。才神さんは、クラウドファンディング専用サイト「Ready for」を通じ、取り組みに共感してくれる国内外の支援者から資金を募った。最低額3,000円から支援を募り、お礼に絵本などを送る予定にして合計150万円を集めた。多くの人が自然に対して畏敬の念を持てるような絵本を作ろうと39ページの絵本を制作中である。才神さんは絵本作家として「ロナラジス」と名乗っている。



(写真提供/テラー東北新聞社)

美術部門

10月27日・28日、八戸市公民館で行われた青森県総合文化祭美術部門において加賀明日花さん（美術コース2年／三本木中）が最優秀賞、小山内柚月さん（美術コース2年／白山台中）が優良賞を獲得した。加賀さんは大会のテーマ「千人万花」をイメージしたポスターも最優秀賞となりW受賞となった。F50号の日本画で「未知」と題された加賀さんの作品（写真）は、輝く水晶を主役に透明感に溢れ、完成度の高い作品に仕上がりに、また来年度の第42回全国高等学校総合文化祭長野大会美術部門の出場を決めた。



JRC 部門

10月28日、本校を会場に青森県高等学校総合文化祭青少年赤十字部門大会が行われた。県内各地から青少年赤十字部の生徒・顧問ら45校453名参加し、日頃の活動とその成果を発表した。本校からは、泉山未希さん（カレッジコース1年／八戸一中）・杉山凜さん（情報ビジネスコース1年／八戸一中）の2名が総合司会を行い、素晴らしいアナウンスを披露した。本校を会場として部門大会を行ったのは初めてのことであり、運営に携わった生徒は大会を終え、大きな達成感を得ることができた。



準優勝おめでとう!女子サッカー部

第54回青森県高等学校サッカー新人県大会において、本校女子サッカー部が準優勝を収めた。平成28年の高校総体で初出場、今年度の高校総体で公式戦初勝利と、徐々に力を付けてきた選手達である。キャプテンの遠藤麻緒さん（カレッジコース2年／江陽中）を中心に、粘り強い守備と体を張った気迫溢れるプレーで勝ち上がった。準決勝では、大会5連覇中の千葉学園を1点差で破り、決勝まで駒を進めた。決勝戦では、疲労に加え決勝戦というプレッシャーから思うようなプレーが出来ず敗戦してしまった。この経験を活かし、来年度はさらに成長した姿を見せてくれるはずだ、と福士一毅監督はコメントを残した。



芸術鑑賞会



11月8日、本校第二体育館において、芸術鑑賞会が行われ、全校生徒が昔話喜歌劇「絵姿女房」を鑑賞した。この歌劇は35年前に八戸で生まれた創作オペラである。11月9日八戸市公会堂での公演に先がけた本校単独の公演で、本校音楽科講師の金子真知子先生のご尽力により実現した。

生の歌と踊りで演じられている楽しくわかりやすい「和」のオペラの迫力に、生徒達は圧倒されながらも大いに楽しんでいた。

青森銀行出張授業 ～高校生のお金の話教育講座～

10月7日、情報ビジネスコースの3年生を対象として、金融教育講座が開かれた。青森銀行から2名の講師をお招きし、銀行を利用する際の注意点や、預金口座の種類についてなど、お金にまつわる話をしていただいた。また、ローンについての説明では、返済に関わる知識も学ぶことができた。



最後には、模擬紙幣1億円相当が登場し、生徒は手にとってその重さを実感していた。映画やテレビドラマに出てくるようなアタッシュケースと紙幣の束の存在感は、圧巻であった。

今、できることは?

～20年後の自分と地域を考える地域活性化ワークショップ～

11月18日、八戸圏域高等学校地域活動促進事業の一環として、本校主催の「地域活性化のためのワークショップ」を開催した。2学年ACクラス生及び美術コース生合わせて約90名が、保護者や大学生、市町村職員や企業の方々30名と一緒に、20年後の自分や地域がどうあってほしいか、そのために何ができるかを話し合った。講師に青森中央学院大学の佐藤淳准教授をお招きし、ファシリテーターを生徒が務め、ワールドカフェ方式で大人も子どもも同じ目線で対話を重ねた。参加生徒からは「自分では気が付かなかった地域の良いところを発見することができた」「普段接点がない大人の方々の話を聞くことができたためになった」などの声が聞かれた。



K-O運動 陸前高田市訪問

10月15日、生徒会を中心とした35名の生徒が陸前高田市の公営住宅を訪問し、現地の人と交流を図ってきた。

内容は絵画の寄贈、即興での似顔絵プレゼント、せんべい汁の振る舞い、八戸観光紹介が生徒主体で行われ、終始なごやかな雰囲気に住民と楽しい時間を過ごした。似顔絵を描いた久保田琴音さん（美術コース3年／天間館中）は「とても緊張しましたが、現地の方が話しかけてくれ、自然な笑顔を描くことができました。喜んでくれて嬉しかったです。」と当日を振り返った。





# はっぴょうかい

12月7日(木) 8日(金) の二日間、クリスマス会が行われた。出番を待つ子ども達の「何だかどきどきしてきた」「緊張するな」の声が幕の裏から聞こえていた。それでも幕が開くと真剣な表情で一生懸命演技、子ども達に、たくさんの拍手が贈られた。子ども達は、幕が閉まると安心したのか晴れやかな表情を浮かべ、足取りも軽くクラスへ戻っていった。最後には、全園児がクリスマスの曲に合わせてステージへ。「あわてんぼうのサンタクロース」を歌い終えたところにサンタさんが登場。会場は一気に歓声に包まれた。サンタさんからもらったプレゼントを、しっかりと自分で持って帰っていた。



年中組 遊戯「よさこいラーメン」  
「げんきないときゃラーメンたべて!!!」



満3歳児組 遊戯  
「ミッキーマウス・マーチ」

「は〜い!ほくミッキー☆」



年少組 遊戯「キュータマ ダンシング」



年長組 劇  
「わらしべちょうじゃ」



おずかしいかんさいぺんも、がんばったよ!!  
「たろすけは、げんきなんや」



「キューキュータマ  
タマタマ キューキュー♪」

年長組 遊戯「東京ブギウギ」

「しょうわレトロのじだいへ  
タイムスリップ!!へーい!!!」



「サンタさん、すてきなプレゼントありがとう!」

かたぐるま

## 私共夫婦と娘夫婦のさくら幼稚園

孫娘の沙和が3歳になって直ぐにさくら幼稚園に入園し、満2年が過ぎました。今では幼稚園から帰ってきて、園での工作物や出来事を私やお祖父ちゃんに楽しそうに説明をしてくれます。

私とさくら幼稚園の関わりは、私の長男がお世話になったのが最初で、その時の園長先生が偶然にも主人が小学校の時の校長先生の佐藤政五郎先生でした。私どもの長男の後、長女、次女と3人の子どもがさくら幼稚園にお世話にな

りました。その後、長女は東京で職を得て結婚。縁あって長女の夫が此方で職を得ることが出来、私どもの側に家を持ち、娘の長男、長女、私の血を継ぐ子ども、合計5人がさくら幼稚園にお世話になりました。通園当初、沙和はたまには失敗も有ったようですが、日に日に生き生きと成長してゆく様を目の当たりにし、先生方に愛情豊かにお世話いただいていることは感謝に堪えません。

(もも組 清塚沙和ちゃんのおばあちゃん)  
大川 真理子さん



## ようちえんってこんなところ

～年長組 飛行機見学会～



「じえいたいのしょうぼうしゃもみたよ」

「これをされば、あつさからみまもれるんだって!!」

～お店屋さんごっこ～



「いらっしゃいませ～♪かわいいマイクはいかがですか?」

～青森県緑化推進委員会様より寄贈～



「きのおいがするつみき。とってもいいにおい。」

## とらんぽりん

～ある日の保育日誌～

### 満3歳いちご組

11月16日(木)

クリスマス会の遊戯の練習後、園庭で思いっきり遊んだ。イチヨウの葉を見つけると友達に見せたり両手から余るほど集めたりしていた。ところが、手に持っている遊具で遊べないことに気が付いたようで、近くにいた友達に「ちょっと持って来てちょうだい」と頼んでいた。一回遊ぶと「ありがとう」と言ってイチヨウの葉を受け取っていた。少しずつ友達の間でも考えながらやり取りができるようになってきたと思う場面が多くなってきた。



～年少組 運動遊び～  
「おとつと、おちないように、わたるぞ!!」

### 年少組 11月8日(水)

緑化推進事業でいただいた積木を初めて使って遊んだ。木の匂いがして子ども達も「いい匂いだね」「すべすべだね」と嬉しそうだった。今までの積木よりも小さく軽いので、子ども達だけで運ぶこともできた。三角や丸、四角など様々な形があり、組み立てやすいので、お城や電車など作って楽しんでた。ただ、片付けはケースにすき間なく入れるのが難しく、一緒に片付けた。これから少しずつ慣れて、上手になっていくだろうと期待したい。

### 年中組 10月26日(木)

今日の焼き芋会が楽しみだったようで、登園するや「早くいきたいな」と言う子ども達の朝の準備の早いこと。バスの中も会話が弾んでいた。さつま芋を投げ入れる前に少し時間があつたので、投げ入れる場所をしっかりと確認した。そのためかほとんどの子は、狙いを定めて上手に投げ入れることができた。芋が焼けるまで、鬼ごっこをしたり、どんぐりを拾ったり、満足いくまで遊んだ。その後、焼きあがったばかりのほっかほかの芋をおいしそうにほおばっていた。



～焼き芋会～  
「ほっかほかのやきいも、あまくておいしい!!」

### 年長組 10月31日(火)

今日は、親子で「花育」に関する講習会に参加し、フラワーアレンジメントを行った。最初は、フラワーアレンジメントってなんだろう?と不思議そうにしていた子ども達だったが、講師の先生の話聞きながらやっていくうちに茎を斜めに切るのも上手になり、花を生ける楽しさが少しずつわかってきたようだった。親子で完成した作品を見て満足そうにしている姿は、とても微笑ましく感じられた。初めてのことがあったが体験することが出来てよかった。



## 理事会

学校法人八戸工業大学は、下記のとおり理事会を開催して各案件について審議を行い、それぞれ原案通りに承認した。

### ◇11月29日 理事会

- ・八戸工業大学「任期付教員規程」制定に関する件
- ・八戸工業大学「学則」変更に関する件

ご冥福をお祈りいたします。

八戸工業大学第二高等学校 赤坂 寿 校長

1月18日、赤坂寿八戸工業大学第二高等学校校長が急逝されました。

4月から開校する附属中学校の開設に向けご尽力され、誰よりも入学生の笑顔を中心にしておられた方だけに、大変残念なこととなりました。赤坂先生のご功績とご人徳を偲び、心からご冥福をお祈りいたしますとともに、ここに謹んでお知らせ申し上げます。合掌

学校法人八戸工業大学理事長 柳谷 利通

表紙：八戸工業大学第二高等学校 美術コース作品展  
 裏表紙：八戸工業大学第二高等学校 女子サッカー部